

学校保健

THE SCHOOL HEALTH No. 219

(財)日本学校保健会

生涯を通じて、心豊かにたくましく
生きる力をはぐくむ健康教育の推進

— 健康教育 21世紀への挑戦 —

第48回全国学校保健研究大会の主題
(平成10年度・宮城県)

健康教育の推進について



文部省体育局長 工藤 智規

文部大臣の諮問機関である保健体育審議会から、去る9月22日に「生涯にわたる心身の健康の保持増進のための今後の健康に関する教育及びスポーツの振興の在り方について」答申をいただきました。この答申においては、健康に関する教育を組織的に展開することが必要であること、また、心の健康問題について、学校内外の様々な専門家の活用が重要であることなど、各般にわたる対応方策が提言されています。

文部省では、これらの提言を踏まえ、各般にわたる施策の充実を図っていくこととしておりますが学校保健の諸課題の解決のためには、我が国の「学校保健センター」である日本学校保健会の御活躍に負うところは極めて大きいものがあります。

日本学校保健会におかれては、今後とも、薬物乱用、性の逸脱行動、肥満や生活習慣病、いじめや登校拒否、感染症等の新たな健康に関する現代的課題に対し、積極的に対応いただき、健康教育の一層の推進に、これまで以上に大きな役割を果たされるよう、御期待いたしております。



アメリカのジェミニ4号の2人の宇宙飛行士は、4日間の飛行で平均9%も骨量が低下しました。無重力において、骨への力や刺激が加わらなかつたためだといわれています。

「骨の健康づくり」より転載

目 次

体育局長挨拶	… 1
児童生徒の骨の健康を守るための調査研究委員会の報告	… 2
気軽に骨の健康教育を	… 3
丈夫な骨づくりは、子どもの時から	… 4
平成9年度 全国学校保健協議大会	… 5
第36回 全日本よい歯の学校表彰校	… 5
北から南から	… 6
学校保健募金報告	… 7

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

児童生徒の骨の健康を守るための 調査研究委員会の報告

児童生徒の骨の健康を守るための調査研究委員会 委員長 福永仁夫

1. 委員会設置の背景と設置の意義

近年、小児科医、学校医や保健担当の教員から、児童・生徒の骨折の頻度が増加していることが指摘されている。また、本邦では人口の高齢化に伴い、老人特有の退行性疾患が増加している。骨の退行性疾患の一つである骨粗鬆症(こつそしょうしょう)は、しばしば骨折を合併し、「生活の質(quality of life)」を損なうので、その予防や対策の確立が要望されている。骨折をきたし易いか否かは、骨量に依存することが知られている。ヒトの一生の骨量の変化をみると、骨成長期には急激に増加し、10代後半にはピークに達し、女性では閉経期の50歳前後から、男性では70歳以後に急激に低下するパターンを示す。したがって、骨成長期に十分骨量を増加させないと、老年期に骨折を生じる危険性が高くなる。

このような状況下において、平成6年度に骨代謝、骨量測定、小児医学、疫学、公衆衛生学、栄養学、スポーツ医学、保健体育、養護、栄養の学校教育の現場の専門家からなる本委員会が設置された。本委員会の目的は、児童・生徒の骨状態を把握し、骨量と骨折、栄養や運動などとの関係を調査し、骨の健康に関する学校保健教育の指導法確立のための基礎的データを得ることにある。学校保健センター事業に「骨の健康」を玉題とした委員会が設置されることは初めてであり、画期的である。

2. 委員会の作業経過

本委員会は、全体会議のほか、(1)実務担当者によるワーキング・グループと、(2)教育現場での活用資料「骨の健康づくり」作成小委員会を持ち、平成8年度までの3年間調査研究を行った。

平成6年度には、(1)児童・生徒の骨状態の調査研究と、(2)児童・生徒の骨の健康へのアプローチの方法の決定を行った。まず、①性別、年齢別の骨量の基準値の設定、②骨量測定法および測定部位の検討、③骨量の横断研究と縦断研究の比較、④骨成長期における年間の骨量増加率の算出、⑤最大骨量を示す時期の決定など、各委員のデータや文献から検討を行った。さらに、①運動の骨量に対する影響、②栄養と骨量との関係、③栄養や運動の介入による骨量の変化、④骨量調査および介入調査によるプロトコルの検討などについて討議を行い、次年度以降の調査研究の基礎的データを得た。

平成7年度には児童・生徒の骨状態の調査として、(1)骨量測定と日常生活の調査と、(2)骨量に影響を与える日常生活の解析を行った。つまり、①日常生活調査票(保護者用と本人用)の作成、②調査研究のプロトコルの作成、③骨量測定法の決定、④調査研究のフィールドの設定、⑤骨量測定結果の報告書の作成、⑥骨量測定値と日常生活調査結果との解析を行った。日常生活調査票は、骨折の既往、食習慣、ダイエットの有無、運動習慣などを問うものである。使用した骨量測定法は、両手を骨量の基準物質と同時に撮影して得られるX線フィルムを解析するDIP法である。この方法は、X線フィルム上骨年齢を示す手根骨の数や形態を知ることができ、固体の成熟に伴う変異を補正できる利点がある。

平成8年度には、前年度までの調査研究の結果を踏まえ、(1)児童・生徒の骨の健康に影響を与える因子を明らかにするとともに、(2)「骨の健康づくり」を作成した。

3. 委員会の成果と報告

調査研究の成果、(1)骨折の既往のある女子は、骨量が有意に低値である。(2)牛乳、乳製品や小魚類の摂取量または摂取回数が多い群は、骨量が有意に高値である。(3)運動習慣のある者の骨量は、基準値より15%高値である。(4)同年齢の骨量基準値と比較して、10%以上の低下を示す者は全体の6.5%、20%以上の低下を示す者は1.3%にみられ、これらの低骨量児は牛乳、乳製品や小魚類の摂取量または摂取回数が少ない者が多いことが示された。

調査研究の成果を併せて、骨の構造、作用、成長、骨とカルシウム、骨粗鬆症(こつそしょうしょう)、骨量測定法、骨と栄養、運動、睡眠、骨の発育特徴、指導目標、指導の場面、家庭への啓発、地域社会での取り組みを内容とする「骨の健康づくり」が各委員の尽力と文部省今村知明、浅沼一成、三木とみ子各氏の協力により、刊行された。

本調査研究から、児童・生徒の骨量は食事や運動と深く関わっていることが確認された。特に、不足する可能性のあるカルシウムを、バランス良い食事から摂取することや、適度の運動が重要と思われる。「骨の健康づくり」の冊子が、学校教育の場から高齢期まで生涯に亘る丈夫な骨づくりに取り組む礎として御利用頂ければ、委員会としては喜びである。

気軽に骨の健康教育を

千葉県立本町小学校 都築 桂子

1. はじめに

児童生徒の骨の健康を守るための調査研究委員会では、今の子ども達の骨の状況や生活実態を調査研究する他に骨の健康教育のためのしおりを作成するという目的もありました。

時代の流れとともに学校における健康教育も大きく変化し、「性教育・エイズ教育」「喫煙・飲酒・薬物乱用防止」「生活習慣病の予防」等、求められる内容は着実に増えています。あえて、本音を言うならば「今度は、骨の健康か…」という心境でした。しかし、すでに高齢化が確実にすすんでいる現在、骨の健康は加齢とは切り離せない問題であることが分かっています。そのため、子ども時代の生活習慣が重要であることや子ども達は1日の生活の3分の1を学校で過ごしていることから、指導の機会や内容を吟味することによって教育効果が期待されることなど、やはり学校教育の中でも扱った方がよい内容であると認識しました。もちろん、これまでも学校での教科指導の中では、理科や家庭科、保健などで「骨のつくりや働き」「体に必要な栄養素の働きやそれらを含む食品の種類」など、扱ってはいますが教科には単元のねらいがあり、「骨粗鬆症の予防」を念頭に入れた「骨の健康」に関する内容には触れていないのが現状でした。

2. こんなしおりに

しおりの作成にあたり、全体的なイメージを次のように押さえました。

- (1) 簡潔明瞭で写真やイラストを多くし、現場の先生方が読む気持ちになるもの。
- (2) 内容を読んで「なるほど…。子ども達に指導してみようかな」という意欲がわくもの。
- (3) 骨についての解説と学校での指導方法の両方を入れ、他からの情報を収集しなくても、ある程度の指導ができるもの。

3. 指導はどのように

上記2.のようなしおりにしたいと思いつつ作成したものが、年度当初に全国の小中学校に配布された「骨の健康づくり」というしおりです。手にされた方のご感想はいかがでしたでしょうか。

さて、実際に学校生活の中でどのような時に骨の健康に関する指導をしているか、あるいは指導できるのかを見て見ますと関連教科の他に学級活動での保健指導や給食指導、健康診断や身体測定などの学

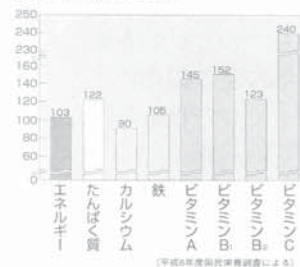
校行事、児童生徒の委員会活動など、指導する側の意識の持ち方で時間をかけずにくらでもできることが分かります。(骨の健康づくり 14,15ページ参照)これは1単位時間すべてを骨の健康について指導するのではなく、むしろ先生が知り得た情報を子ども達に話したり、しおりに載っている電子顕微鏡写真やX線写真を提示して説明するといった方法がより効果的です。

4. おわりに

骨の健康は子どもの頃からの食生活や生活習慣が大きく影響しています。そのため、学校での指導だけでなく、家庭への啓発も重要です。子ども達に指導することによって家庭を刺激する、PTAや保護者会で話し合いをする、地域の保健所や保健センターを通して家庭教育をするなど、啓発の仕方も様々です。地域の状況に合わせて取り組まれることを望みます。

骨の問題だけでなく、食生活や生活習慣からくる様々な健康問題には数十年も先きを見越しての指導が求められます。ということは、小学校や中学校では機会あるごとに意図的に短時間で繰り返し指導することが自然に身につく効果も期待されると思います。

栄養素等摂取量と調査対象の平均栄養所要量との比較
(調査対象の平均栄養所要量=100)



所要量に達していない
カルシウム摂取量

- 日本人の主な栄養素の摂取量をみると、カルシウムだけが不足しています。
- カルシウムは、日本人の食習慣では、なかなかとりにくい栄養素です。毎日の食事でカルシウムをじゃうぶんにとるように気をつけましょう。

カルシウムを多く含む食品

食品	カルシウム含有量
スチームミルク	220mg
牛乳	200mg
ヨーグルト(無糖)	165mg
プロセスチーズ	189mg
ひじき(乾燥)	140mg
わかめ(乾燥)	48mg
ごま	36mg
カルシウム錠	210mg
わかめ(生)	375mg
干しえび(生)	230mg
煮干し	220mg
九十九(生)	210mg
主揚げ	220mg
豆腐(もめん)	220mg
がんもどき	220mg
納豆	220mg
ごま油	232mg
かつお節	194mg
香葉	81mg
ほうれん草	55mg

(参考文献：(財)保健会 健康教育推進本部)

○からだの成長期にある時だけに、バランスのとれた栄養をとることが大切です。
○牛乳や乳製品は、カルシウムを効率よくとるためにとてもよい食品ですが、カルシウムの摂取を牛乳や乳製品だけにたよることなく、上の表のようないろいろな食品からとるようにしましょう。

丈夫な骨づくりは、子どもの時から

東京都世田谷区立守山小学校 青 木 優美子

骨は「体を支える」「臓器を保護する」とともに、「カルシウムを貯える」「血液をつくる」など、人の命を支える重要なはたらきをしています。

生涯における骨の健康づくりの基礎は、子どもの時から始まっています。丈夫な骨をつくるには、バランスのよい栄養をとることはもちろんのこと、運動や日光とも深くかかわっています。

そのため、日々、成長していく子どもや、その親に「生涯の骨の健康を左右する骨づくりは、今が大切な時期である」ことを伝えたいという思いが強くなりました。そこで、区内の養護教諭と話し合った結果、グループで「保健だより」を作成することにしました。

保健だよりは、どこの学校でも発行されていますが、今回は、特別にシリーズを組みました。作成メンバーは、近隣の学校の養護教諭 8 名です。

グループで保健だよりを作成したことで、次のようなメリットがありました。

- 資料集めを複数で行ったことで、短期間に幅広く集めることができました。
- それぞれが、記事を分担したので、時間や労力を有効に活用できました。
- 疑問に思うことがあった時は、グループで相談でき、解決できました。
- 一つの保健だよりが、8 校で同時に発行されたので、地域的に広がりをもつことができました。

〈 4 回シリーズで発行した内容の紹介 〉

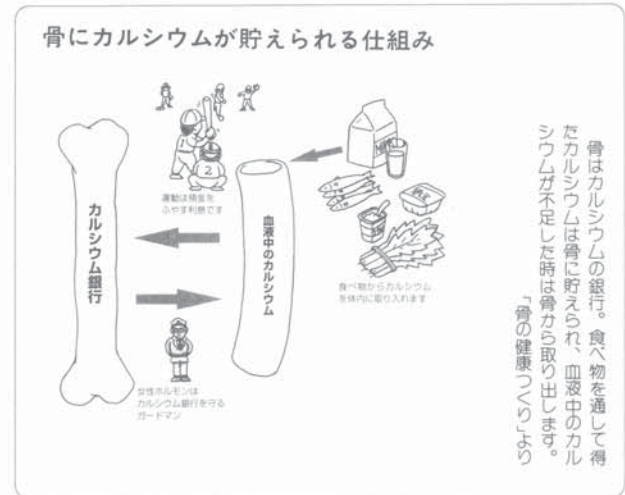
- 〔 1 回目 〕 成長している子どもの骨格のはたらき
- 〔 2 回目 〕 生まれかわっている子どもの骨折の特徴
- 〔 3 回目 〕 骨量と骨粗鬆症
- 〔 4 回目 〕 日本人が最もとりにくい栄養素カルシウム日光とビタミン D

4 回目には、世田谷区の保健主任会が作成した表をのせました。右下の表です。(一部省略 編集部)

この表を見ると、一目でどの料理にカルシウムが多く含まれているのかが分かります。

また、どのような食材に、カルシウムが多く含まれているのかも分かります。今までの栄養素の表示の仕方と違って、新鮮な感じがして好評でした。

保健だよりの最後に、保護者に感想を書いてもらいました。「子どもの疑問に資料を見ながら説明できた」「不足していたものが分かり、勉強になった」「今



後もこのような特集を組んでほしい」というような意見が寄せられました。

家庭への骨の健康づくりの啓発では、PTA活動としての家庭教育学級とか、学校保健委員会とか共催という形で「骨の健康について」講演会を行いました。本校の学校保健委員会には全職員が参加します。骨の解剖学的なことから骨粗鬆症予防などについて、親と職員と一緒に勉強でき、とてもよい会になりました。講演会を通して、骨ばかりでなく、体すべての健康づくりの大切さを学ぶことができました。このように勉強した結果を生かして、今後、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちのために、よい生活習慣や、よい食生活を実践していくことができるのではないかと期待しています。

学校給食献立：3～4年生の一人分に含まれるカルシウムの量

カルシウム量	主 な 材 料
五目焼きそば 65 mg	むし中華麺・豚肩肉・干しいたけ・たけのこ・にんじん・いか・えび・ねぎ・白菜・チンゲン菜・うずら卵
ハンバーグ 21 mg	豚・牛ひき肉・たまねぎ・ホールコーン・ナッメッグ・牛乳・パン粉・鶏卵
お で ん 127 mg	こんぶ・こんにゃく・にんじん・大根・里芋・がんもどき・つみれ・焼きちくわ・ちくわぶ・うずら卵
スパゲティミートソース 56 mg	スパゲティ・たまねぎ・ベーコン・豚牛ひき肉・にんじん・ピーマン・セロリー・マッシュルーム・トマトケチャップ・ピューレ・ペースト・とんかつソース・粉チーズ・グリーンピース

太字は、材料の中でカルシウムを多く含むものです。

平成9年度 全国学校保健協議大会

標記の大会は9月26日(金)に、議長団に佐賀県学校保健会吉原会長、鳥取県学校保健会入江会長、宮城県学校保健会師会長を選出し、鳥取県立県民文化会館で開催された。

報告事項として、前年度協議大会における協議事項の処置に関して吉原会長より、文部省・各都道府県・政令指定都市教育委員会へ村瀬会長名をもって要望書として提出し、それぞれから極力努力する旨の回答があったと報告された。

つづいて、学校における健康教育の充実・強化についての協議に入り、①児童生徒の心の健康、②定

期健康診断の充実、③学校における「薬物乱用」防止の取組みについて、④保健主事の資質及び地位の向上と職務遂行の定着化を図るため、手当の支給等について、⑤養護教諭の配置について、⑥学校保健委員会の活性化について、⑦学校医・学校歯科医・学校薬剤師の充実と待遇改善、の7つの協議題がそれぞれのブロックから提案され熱心に協議が行われた。その処置については議長団に一任され、盛会裡に終了した。

鳥取県の関係者各位に深く感謝申し上げたい。

(文責 事務局)

第36回 全日本よい歯の学校表彰校

第36回全日本よい歯の学校表彰は、平成9年10月16日、福島県で行われた第61回全国学校歯科保健研究大会にて、全国より86校の応募があり、最優秀校6校に文部大臣賞、特別賞校9校に日本歯科医師会会長賞が授与された。

最優秀校 6校

秋田県山本郡八竜町立湖北小学校
栃木県佐野市立植野小学校
千葉県柏市立名戸ヶ谷小学校
静岡県静岡市立横内小学校
和歌山県有田郡金屋町立鳥屋城小学校

福岡県北九州市立祝町小学校

特別賞校 9校

北海道札幌市立西岡北小学校
山形県山形市立第三小学校
福島県福島市立清水小学校
埼玉県浦和市立本太小学校
大阪府大阪市立上福島小学校
兵庫県神戸市立向洋小学校
島根県飯石郡赤来町立来島小学校
香川県小豆郡池田町立池田小学校
鹿児島県鹿屋市立古江小学校

虎の門(42)

地球の環境問題は各国間で取り上げられていたが、いまや全世界で真剣に検討すべき課題になっている。行政改革の中での環境庁の位置付けや、民間でも環境に関する委員会などが設置されることにもその一端が伺われる。折も折、ある会合で「自然環境と歴史的遺産を守る組織」ナショナルトラストを知った。19世紀末、産業革命

ナショナルトラスト

による自然破壊で英国の風景は無残な姿に変わりつつあった時に、3人の創始者によって新しい組織が創設されたという。2度の世界大戦を乗り越え、100年もの間、彼らの環境を守る民間の非営利的組織、その名も国民が信頼し合う「The National Trust」は220万人の会員、東京都全体を超える土地、大きい公園、城やカントリー

ハウスを所有して一般に開放されているとか。

わが国でも国情の違いとはいえ自然破壊が続く20世紀末、人にやさしさを与え感性を育てる自然と歴史や文化を後世に残したい願いの意義と重要性は大きい。

(内藤昭三編集委員長)

北から南から

福岡県学校保健会の活動

福岡県学校保健会事務局

福岡県学校保健会は、昭和17年に「福岡県学校衛生会」として創設され、以来、名称等の変更を経て昭和26年「福岡県学校保健会」と改称し、昭和30年3月16日に財団法人設立の認可を受け現在に至っています。加盟団体として、県医師会、県学校歯科医会、県学校薬剤師会、県高等学校保健会及び30の市郡学校保健会があり、各団体から推薦された役員及び評議員で、理事会及び評議員会を組織しています。

児童生徒の健康管理及び健康教育に関する調査研究並びに普及進展を図り、学校保健施策に寄与することを目的として、主に次のような事業を行っています。

1. 日本学校保健会の委託事業

学校保健センター事業では、昭和53年度に「健康診断（心臓・腎臓）体制整備推進事業」を委託して以来、数々の事業を実施してきました。

本年度は、保健室相談活動研修会を受託し、8月28日～29日に「養護教諭の役割、保健室相談活動の理論と実際」について指導主事、大学助教授による講義と事例検討会を行いました。

2. 団体振興助成事業

・学校保健教育研究指定委嘱校

毎年、3校程度を研究指定委嘱校として決定し、学校保健及び学校安全に関する研究に対する助成を行っています。

3. へき地学校巡回保健指導事業

児童生徒の健康管理に寄与するため、眼科や耳鼻科とうの学校医が未設置のへき地学校に、専門医を派遣して検診と保健指導を行う事業です。県医師会の協力を得て、3地区で10校程度を対象に実施しています。

4. 共同事業

・福岡県学校健康教育研究大会

県教育委員会とうの共催で毎年開催している事業で、児童生徒の健康づくりについて学校保健・学校安全・学校給食で功績のあった個人や団体の表彰、特別講演及び研究発表を行っています。

・九州地区養護教諭研究協議大会

本年度、九州各県教育委員会とうの共催で、「生きる力を育む健康教育～心身ともに健康な幼児・児童生徒の育成をめざして～」を主題として、九州各県から722人の養護教諭、学校保健関係者を一堂に

会し、8月7日～8日に北九州市で開催しました。学識経験者による講演と分科会方式による研究協議を行いました。

5. 学校保健会報の発行

昭和26年から発行しているもので、本年度は第53号を企画しています。当保健会の諸事業の内容、医師会とうの学校保健関係団体や各市郡学校保健会の活動報告、研究指定委嘱校の研究内容とうを紹介しています。各都道府県教育委員会及び保健会にもお送りさせていただいています。

京都府学校保健会の活動

京都府学校保健会事務局

京都府学校保健会は、ブロック別学校保健連絡協議会、地域学校保健会及び学校保健関係団体とうの総数39団体にて構成されており、事務局は、府教育委員会の保健体育課内に設置されています。

本会は、京都府における学校保健の研究を推進し、学校における保健管理及び保健教育の進展向上を期することを目的とし、学校のみならず、家庭、地域社会及び学校三師会との連携を図り、次のような活動を主に行っています。

1. 「京都府学校保健研究大会」の開催

京都府教育委員会との共催で開催。府下の学校保健関係者が集い、全体講演及び5つのテーマ別分科会を実施し、学校保健の充実・発展を図る。

昭和31年度から開催し、毎年度10月中旬に開催。本年度で第41回を迎える。

2. 「学校保健に関する実態調査」の実施

毎年度「学校保健に関する実態調査」の実施により、府下の学校における保健活動の取組状況とうを把握するとともに、学校保健活動の推進に資する。

3. 広報誌「生きいき」の発刊

年2回（10月、3月）、学校保健に関する動向や本会並びに地域学校保健会の活動報告及び京都府学校保健研究大会の要旨まとめなどを掲載。

4. (財)日本学校保健会委託事業について

「保健室相談活動研修会」の実施

保健室における相談活動の知識や技術を習得し、養護教諭の資質向上を図る。本年度は12月に開催。

以上のことについて実施しておりますが、今後の活動とうについて、他府県学校保健会における皆様の御活躍を参考にして、さらに本会の充実を図っていきいたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

日本学校保健会だより

「学校保健募金」終了のお礼と報告

1993年8月1日にスタートした「学校保健募金」は1997年7月31日をもって一応終了致しました。

この間、各団体・企業、多くの個人の方々のご協力を頂きましたことに感謝致します。お礼と報告をいたします。

本当に有難うございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

学校保健募金収支報告

(1993年8月1日～1997年9月30日現在)

1. 収入の部

① 入金 (492企業・団体)	138,039,629円
(個人 20,182名)	163,498,163円
② 銀行利息	4,139,490円
合 計	305,677,282円

2. 支出の部

① 印刷代 (パンフレット、趣意書、しおり等)	7,400,878円
② 趣意書・しおり等発送費	294,800円
③ 事務局費	3,092,330円
(雇員費・出張旅費・領収書・礼状・振替用紙印刷代・封筒代・礼状送料等)	
④ 会報「学校保健」印刷代	3,154,384円
⑤ 郵便局・銀行振込手数料	611,171円
⑥ 各学校保健会事務処理返還金	11,380,000円
⑦ 一般会計への繰入金	18,760,000円
合 計	44,693,563円

3. 収支差額

収入合計	305,677,282円
支出合計	44,693,563円
差引額	260,983,719円

(備 考)

現 金	0円
定期預金	
住友銀行	15,300,000円
東京三菱銀行	160,000,000円
富士銀行 (抵当証券)	60,000,000円
銀行預金	23,073,439円
郵便振替	2,610,280円
合 計	260,983,719円

「学校保健募金」協賛都道府県別一覧

(1・2期合計) 単位:円 (1997年9月30日現在)

	県名	合計金額		県名	合計金額
1	北海道	8,300,000	26	京 都	2,099,000
2	青 森	100,000	27	大 阪	31,585,891
3	岩 手	800,000	28	兵 庫	12,575,000
4	宮 城	5,342,000	29	奈 良	2,361,000
5	秋 田	870,000	30	和歌山	2,790,000
6	山 形	765,000	31	鳥 取	2,095,500
7	福 島	80,000	32	島 根	4,526,000
8	茨 城	10,054,943	33	岡 山	9,776,770
9	栃 木	7,865,000	34	広 島	5,068,000
10	群 馬	3,433,000	35	山 口	1,355,000
11	埼 玉	10,802,619	36	香 川	785,000
12	千 葉	7,420,485	37	徳 島	550,000
13	東 京	86,174,531	38	愛 媛	525,000
14	神奈川	24,040,000	39	高 知	85,800
15	山 梨	1,000,000	40	福 岡	10,348,513
16	新 潟	2,973,790	41	佐 賀	2,654,000
17	富 山	5,852,411	42	長 崎	105,000
18	石 川	1,775,000	43	熊 本	2,030,000
19	福 井	783,000	44	大 分	6,825,017
20	長 野	6,080,000	45	宮 崎	4,224,018
21	岐 阜	1,071,840	46	鹿 児 島	3,803,663
22	静 岡	632,485	47	沖 縄	331,016
23	愛 知	5,357,000	合 計		301,537,792円
24	三 重	2,040,000			
25	滋 賀	1,440,500	銀行利息		4,139,490円

「学校保健募金」協賛者ご芳名 (No. 15)

団 体	神戸市医師会	宮崎県学校保健会				
個 人	加藤 一 富	初田 高明	竹之内 智	柏木 光明	三藤 哲史	
	鈴木 一 雄	清水 忠雄	斎藤 宣子	高木 寛敬	横田 耕三	
	弘田 直三	小泉 京子	木村 レイ	中山 きく江	中村 富子	
	佐々木 貞	田中 芳一	松木 英行	富井眼科診療所	西村 二郎	
	大田 医院	宮尾 医院	安見 医院	高橋 フサコ	高橋 ヒロコ	
	高橋 ヨシヒロ					

発行 財日本学校保健会 矢野 亨 〒105 東京都港区虎ノ門1-2-20 第19森ビル 電話 03(3501)3785・0968 頒価 1部100円(送料共)



学童の集団検尿に、 エームス尿検査試験紙。



エームス尿検査試験紙

ネフロスティックズ-L

体外診断用医薬品

バイエル・三共株式会社

東京都中央区築地6丁目19番20号

販売元:

三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号 〒103 ☎0315295-7111

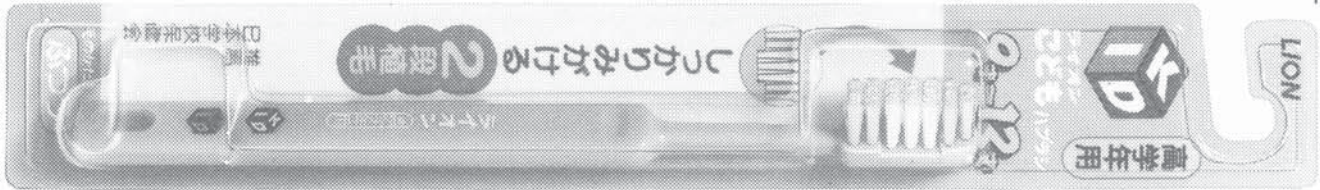
JU1694-S

LION

しっかりみがける2段植毛採用

●低学年用(6才~9才) ●高学年用(9才~12才)

ライオン
こども
ハブラシ



アウトソール ミッドソール 中敷
(ラバー) (衝撃吸収材) (ラバーポンジ)
三層式ソール

JES(呼吸・吸圧)シューズ

JESに学問を!

科学されたJES(吸圧)シューズ!



日本教育シューズ協議会

TEL(086)272-5463

FAX(086)273-9439

多人数のうがい励行に

300自動うがい器

お問い合わせは サラヤ株式会社 06(797)2525
東京サラヤ株式会社 03(3472)1521

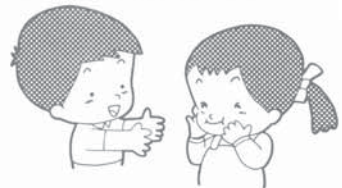


CO-SE-1型

育ちざかりのひと粒!

目・歯・骨を大切に……

ゼリー状ドロップ剤



カワイイ肝油ドロップ



河合製薬株式会社

東京都中野区中野6-3-5